

メダルの表と裏



皆さん、経済学部に入学おめでとう。ご父母の皆様にも、心からお祝い申し上げます。経済学部は、今年、学部創立100周年を迎えます。皆さんは、新世紀の経済学部の担い手です。

ところで、2004年のアテネ・オリンピック。この記念すべき大会で日本体操が28年ぶりに金メダルを獲得しました。日本選手は、メダルラッシュといわれるほど各種目で活躍しました。基礎をしっかりとたたき込まれていた成果だという、元オリンピック選手であったテレビ解説者の言葉が印象的でした。体操選手へのインタビューでは、6人が異口同音に、目標に向かって厳しい練習を積み重ねてきた結果で、練習通りにやれば大丈夫との自信があったと述べました。放映されるのは光り輝くメダルの表側ですが、その裏側に

経済学部長

こぐち
小口
よしあき
好昭

は毎日の地道な練習の積み重ねがあるのです。彼らの口から語られると本当に心を打つ言葉です。

オリンピックが開催された8月の夏休みは、受験生にとっては、かつては天下分け目の関ヶ原などと言われる重要な時期でしたが、新入生諸君はどう過ごしていたでしょうか。

オリンピックは4年ごとの開催。アスリート達は次の4年目を目指して激しい練習に突入しました。君たちも、自分の将来を見据え、自分自身のメダルへの目標を立て、わが経済学部でしっかりと基礎固めをしてください。

とは言っても、堅苦しいだけの大学生生活を勧めているわけではありません。全国各地から、あるいは海外から中央大学に集う学友達と、若者らしく生き生きと、そしてこのびのびとキャンパスライフを楽しみ、自分の可能性をどんどん伸ばしていって下さい。